

小学生らが熱戦展開 卓球大会に52人



熱戦を展開する小学生ら

冬期間の体力づくりを目的にB&G財団会長賞第15回卓球大会兼第21回普代村卓球大会が2月18日、村B&G海洋センターで行われました。

大会には小学4年生以下、同5・6年男女、中学生以上一般男女の5部門に約52人が参加。父母などの声援を背に各部門で熱戦を展開しました。

各部門3位までの入賞者は次のとおりです。

◇小学4年生以下の部 ①日野澤司(鳥小4年) ②駒木李音(黒小4年) ③日向諒(堀小4年)、金子美希(黒小3年) ◇小学5・6年男子の部 ①赤坂真彦(堀小6年) ②中上圭秀(同) ③太田拓也(中央区) (敬称略)

(普小6年)、松頭真二(同5年) ◇小学5・6年女子の部 ①日野澤朱莉(鳥小6年) ②深渡美穂(普小6年) ③太田杏奈(同) ◇中学生以上一般男子の部 ①金子啓三(黒崎) ②立白勝(緑区) ③正路拓也(普中1年)、中居幹(同) ◇中学生以上一般女子の部 ①道上めぐみ(白井) ②日向ケイ子(沢向) ③長澤富士子(中央区) (敬称略)

地震におびえた少年時代、先日津波横町の津波記念碑を訪ねてみた。今から六十余年前とまったく同じであったが台座は多少痛み、四囲の変貌に歳月の重みを感じるのであった。

思い起こせば今でも身震いする昭和八年三月三日、父の肌身に抱かれて避難し、途中一休みしたと記憶している(実は肌から滑り落ち鳴き声も出さず、暗闇の中心探りでも捜していたそうだ)丘はなく(当時は小高い丘があり墓地があった)、翌朝下山の折目にした「顔面に大傷を負った中年男子の顔」が鮮明に浮かんでくるのであった。

我が家は流失を逃れたが床上一対余りの浸水があり床板はことごとく波で押し上げられ、家具、布団は四方に移動し、土間一面に敷き詰められた土砂と氷の冷たさが今でも忘れられない。また連日のよ

郷土を探る——その1

三陸大津波

うに襲う地震と「津波が来るぞー!!」との叫ぶ声に恐怖した当時四歳が私である。以来少年時代一番恐ろしかったのは地震であった。

我が家の避難路は、自宅(岩城理容所所在地)―双葉

さんと三田地さんの間を通り、現(㊦)熊谷儀一さん脇(墓地があった)―現津波記念碑―松森(当時の祠があった)である。今この津波記念碑より海を眺めるとき、当時波頭まで見えた海は普代新水

門(昭和五十八年度完成)にさえぎられ、津波の恐怖など忘れたかに見える。

(昭和八年の三陸大津波)思い出すこと 岩城泰道さん 普代村郷土史六四四頁から抜粋

本県沿岸で二千六百七十一人の死者・行方不明者をだした昭和八年の三陸大津波から七十四年。三月三日には宮古市、釜石市、大槌町で津波避難訓練が行われ、村、洋野町などでは犠牲者の慰霊祭が行われました。

平成四十五年までに、宮城県沖を震源とする大地震が九九%の確率で発生すると予想される中、過去の惨事を教訓に、津波に備えなければなりません。一番怖いのはその歴史がいつしか忘れられること。普代村郷土史には、明治と昭和の三陸大津波の悲惨な様子や被害記録などが掲載されています。



キヤッツアイ CATS EYE

おかげさまで3月16日をもちまして開店7周年を迎えます。今後ともキヤッツアイをよろしく願い申し上げます。

* OPEN 19:00~
* CLOSE SUNDAY
* TEL : 35-3625

卒・入学おめでとうございます



記念日に家族写真はいかがですか!

卒・入学記念撮影 予約受付中!

肖像写真技能士 カトウ写真館

パソコン画像処理やってます
ネガが無い、傷がある写真を美しくスピード仕上げいたします

特典付き

撮影して頂いた方
MYカレンダー
プレゼント!

撮影のご予約
お問合せは ☎ (35)2594